

学校教育用れきはく動画コンテンツ「江戸橋広小路」教師用指導略案（歴博第3展示室）

目標 「江戸橋広小路」ジオラマを観察することにより、江戸時代の江戸橋周辺の様子をつかみ、ジオラマから発見する楽しさを体験できる。それらを通して、江戸時代の文化、人々の暮らしについて理解を深めることができる。

展開 ※設問、問題が出た後は、しばらく画面を止めて、児童生徒が考える時間を確保する。

ワークシートの設問は、その都度画面を止めるか、動画を一通り見た後で実施してもよい。

主な発問（○）と予想される児童生徒の反応（・）	指導上の留意点（◇）
<p>○東京へ行ったことがある人はいますか。 ・何度も行ったことがある。</p> <p>○東京というとどんなことを思い浮かべますか。 ・にぎやか。 ・政治経済の中心地。</p> <p>○江戸時代の江戸橋広小路の様子を見ましょう。</p> <p>【動画の時間 1:03～】</p> <p>○これから質問が出ます。答えはワークシートに書きましょう。 * 船 * 米 * 酒または醤油を入れる樽 * 船荷の陸揚げ</p> <p>【動画の時間 3:32～】</p> <p>* 火の見櫓 * 家事をいち早く発見するため * 瓦屋根 * 防火対策 * 耐火建築である土蔵</p> <p>【動画の時間 6:46～】</p> <p>○江戸の町にはどのような人たちがくらしているでしょうか。 * 武士 * すし売り * 髪結 * 百姓 * 提灯 * 社会生活で差別を受けた人々</p> <p>【動画の時間 10:20～】</p> <p>○このジオラマからどのようなことがわかりましたか。 ・いろいろな店があり、各地から物資や人が集まり、そこにはさまざまな身分や職業の人々がいた。</p>	<p>◇東京のどこへ、何しに行ったか。また、東京のイメージを聞く。生徒の関心を東京に引き付ける。</p> <p>◇地図で場所を確認させ、自分の住んでいる場所との位置関係をつかませる。</p> <p>◇東京都中央区日本橋、江戸橋であることを地図でつかませる。</p> <p>◇日本橋周辺の様子をつかませる。</p> <p>◇問題が出た後、しばらく画面を止めて、児童生徒が記入する時間を保障してもよい。以下の設問も同様に扱う。</p> <p>◇川沿いに河岸があることに気づかせる。</p> <p>◇大量の荷物は、船を使って運んだことを理解させる。</p> <p>◇全国から一大消費地である江戸に物資や人が集まり、経済の中心地であったことを理解させる。</p> <p>◇火除け地や火の見やぐら、瓦屋根、土蔵などから江戸は火事が多かったこと、防火対策がされていたことを理解させる。</p> <p>◇武士・百姓・商人・職人・僧侶・差別を受けていた人などさまざまな身分の人が集まっていたことに気づかせる。</p> <p>◇船を使って物資を大量に運び、荷揚げした商品は江戸庶民によって消費されたことや、多くの人々が集まって生活していたことなどを考えさせるようにする。</p>